

名古屋大学ジェンダーダイバーシティセンター教授公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	所 属	ジェンダーダイバーシティセンター	
3	募 集 内 容	<p>[職務内容(業務内容、担当科目等)] (雇入れ直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画およびダイバーシティ推進に係る研究・教育 ・名古屋大学の男女共同参画およびダイバーシティ推進に係る業務 ・ジェンダーダイバーシティセンターおよびジェンダー・リサーチ・ライブラリの管理運営に係る業務、その他関連する名古屋大学内組織に係る業務 ・学内外との連携業務 ・専門分野と関連する他部局の学部生、大学院生の研究指導・論文審査にかかる業務 ・授業科目等担当:着任後、専門分野を勘案しながら、関連分野の学部・大学院と調整して担当科目を決定する。 ・その他、入試業務等名古屋大学内組織に係る業務 <p>(変更の範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構が指定する業務 	
		<p>[勤務地] (雇入れ直後)愛知県名古屋市千種区不老町(名古屋大学東山キャンパス) (変更の範囲)東海国立大学機構が指定する就業場所</p>	
		<p>[募集人員] 教授・1名</p>	
		<p>[着任時期] 2026年4月1日</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	人文学、社会科学、総合領域、複合新領域、その他
		小分類	限定しない
5	勤 務 形 態	<p>常勤(任期付き)</p> <p>契約期間:採用日から2031年3月31日まで</p> <p>契約の更新可能性:有(契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断)</p> <p>通算契約期間:10年</p> <p>※本ポストは、2031年3月31日まで学内で措置されており、2031年4月以降も同ポストが再措置された場合は、2036年3月31日までを限度とします。</p>	
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士学位を有している、あるいは、博士学位に準ずる研究業績があること。 ・専門はジェンダー学、あるいは各専門分野でジェンダーやDEI等に係る内容を含むこと。 ・男女共同参画やダイバーシティ推進について優れた知識及び経験を有すること。 ・競争的資金の獲得実績があること。 ・大学院および学部における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたることができる者。 ・業務に必要な日本語・英語運用能力を有する者。 	

7	待 遇	<ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers.ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は年齢・学歴・職歴・業績等を考慮の上、以下の規定に基づき決定する。東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程 https://education.joureikun.jp/thers.ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日:土・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ・加入保険:文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
8	応 募 期 間	2025年7月16日～2025年8月29日必着
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募方法(提出書類の送付先)]</p> <p>(1)応募する旨を明記した書類(応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む)</p> <p>(2)履歴書</p> <p>(3)研究業績リスト(受賞歴、競争的資金等の研究課題、過去10年間の研究費獲得状況、特許、担当経験のある科目、学会などの委員歴、その他を含む)</p> <p>(4)主要業績のPDFファイル(主要なもの3編。著書等の場合はコピーでも可)</p> <p>(5)現在までの研究の概要(1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと)</p> <p>(6)現在までの男女共同参画やダイバーシティ推進に係る経験を踏まえた、今後の研究ならびに教育についての抱負(2,000字程度)</p> <p>(7)大学における管理運営、社会連携、国際協働についての考え(1,000字程度)</p> <p>(8)応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス</p> <p>上記(1)～(8)までの書類一式を、電子メールで提出すること。</p> <p>宛先アドレス: kyodo-sankaku1@t.mail.nagoya-u.ac.jp</p> <p>件名:教授応募(氏名)</p> <p>注意事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募書類は(1)～(8)の順に結合し、1つのPDFファイルで提出してください。 ・応募を受領後、確認のメールを返信します。3日経っても返信がない場合は、上記宛先アドレスまでお問い合わせください。 <p>[選考内容]</p> <p>第一次選考:書類選考</p> <p>第二次選考(10月初旬):第一次選考通過者に対して、面接(リモートの場合もあり)を実施。</p> <p>面接日時は担当者からe-mailにて連絡します。</p>
10	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。 <p>ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト: https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ DEIB 推進宣言: https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点

を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。

- ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。
- ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。
- ・面接に要する交通費は支給しません。

・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、応募の際には「類型該当性判断のフローチャート」を確認したうえで、様式1「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。

以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport/overview/folder>

なお、採用時には別途「誓約書」の提出が必要となります。